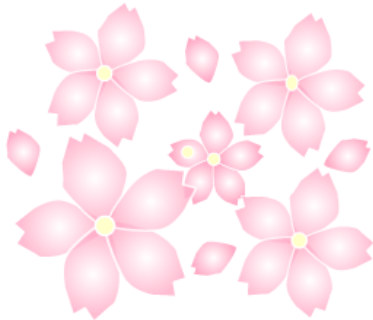


11月5日(月)17時30分～ピオネット「あっちこっち三次」で、第4回尾関山ファンクラブ作業の様子が写真で放送予定です。ぜひご覧ください。

第7号

発行日 平成30年11月1日

発行元 三次市建設部都市建築課



尾関山ファンクラブ通信

第2回尾関山ファンクラブ総会を開催しました

総会概要

日時：平成30年10月19日(金)
10時～12時
場所：三次コミュニティセンター
2階中ホール

内容

- ①桜の勉強会
講師：みずえ緑地(株)代表取締役
樹木医 正本 大さん
- ②尾関山ファンクラブの活動内容
 - ・平成29年度の活動報告
 - ・平成30年度の活動経過報告
 - ・平成31年度の活動提案
- ③役員を選任について



尾関山ファンクラブ会員数
100名(H30.10.19現在)

平成30年10月19日(金)に、三次コミュニティセンター中ホールで、尾関山ファンクラブ総会を開催しました。参加者は18名でした。はじめに、みずえ緑地(株)代表取締役で樹木医の正本大さんを講師に迎え、桜の勉強会を行いました。今年話題となった桜の狂い咲きの理由や剪定技法の種類と方法、そして、午後から作業を行う花菜と紫花菜の種まきについての説明がありました。

次に、昨年度からの尾関山ファンクラブの活動報告と来年度の活動提案について三次市から説明を行い、役員を選任を行いました。今回、新しく7人の方が役員に選出されました。役員の方を柱として、これからも地道な活動ができればと考えています。参加者からは、尾関山ファンクラブの活動について意見や感謝の言葉、そして、さくらんぼ等庭木の勉強会の要望がありました。

樹木医の正本さんからは、尾関山は自然と桜が融合しているところが魅力的で、大きな木は残して、様子を見ながら少しずつ変化させればもっとすばらしい山になるとのお話がありました。事務局の三次市都市建築課からは、尾関山ファンクラブの活動として枝の集積、施肥、虫の防除、花菜の種まきを行う予定である旨の説明を行いました。

そのほか、会員から尾関山ファンクラブに対する思いを語っていただきました。その話の中には、記録を残すことの大切さについて意見がありました。正本さんからも、定点観察は重要で旬な時に毎年行う方がよいとお話がありました。(都市建築課では、平成29年度から定点観察の写真を撮って記録しています。)

最後に、午後から行う桜土手の花菜と紫花菜の種まき作業について参加のお願いした後、閉会しました。

第4回尾関山ファンクラブ作業について



午後からは、尾関山桜土手下の河川敷で、花菜と紫花菜の種まき作業を樹木医の正本さんの指導のもと、三次小学校の児童と行いました。尾関山ファンクラブ16人と小学3年生36人の計52人で共同作業を行いました。耕した250平方メートルの敷地に種と肥料をまき、土を被せました。児童たちはファンクラブの方にサポートしてもらいながら、楽しく作業を行いとても微笑ましい様子が見られました。児童の中には、時々、様子を見に来ると言ってくれる子もいました。自分たちが植えた花菜と紫花菜が春に咲くまで、育つ姿を見守って欲しいです。会長の今田さんからは、「子どもたちが将来、美しい景観をつくったと誇りに思い、地元を大切にす気持ちにつながってほしい」との話がありました。今回の作業を機に、景観や地元に興味をもってもらえれば幸いです。このような取り組みが人材育成の種まきだと思います。これからも継続しましょう。来春、桜といっしょに花菜と紫花菜が立派な花を咲かせることを願っています。

